



やまのいもっこ倶楽部

山野地域づくり協議会（地域活性化部）では、「里芋で元気なまちづくり」を実践するために、「やまのいもっこ倶楽部」で下記の3つのテーマを掲げ活動しています。

①山野の里芋拡大と認知度・ブランド向上

令和4年から毎年10月中旬に「里芋掘り取り体験会」を開催しています。山野の里芋の美味しさを知る多くの方々が、口コミ・SNSなどから情報を得られて、遠くは県外からの来場もあります。リピートのお客さんは確実に増加しています。



里芋掘り取り体験会

②地元農産物販売「ふれあい広場やまの」



地元農家が一生懸命に育てた農産物と素材を活かす無添加食品加工品を販売しています。特に、山野特産里芋の季節（10月～12月）は地区外の方も多数来場され、山野の里芋の美味しさを求め、県外からもわざわざ購入に来られる方も！

食品加工部門「いも工房」で、ベテランスタッフが調理した「里芋コロッケ」「里芋おはぎ」や、調理しやすい「洗い

芋」も合わせて販売しており大好評です。

また、季節毎に、とれたて農産物フェスタや、地元の方達の健康への支援として骨密度検査などのイベントも毎年実施しています。さらに、「無印良品」砺波店さんに出向き、出張販売も行っています。



とれたて農産物フェスタ

「無印良品」出張販売

③山野の良さを次世代につなぐ



関心が薄く、山野のおいしい里芋の魅力に気づいていないようです。この体験学習を通して山野のこれからを背負ってくれる人材に育てることを期待し活動しています。

「山野の里芋」の歴史・美味しさの秘密と育て方を、未来につなぐ若い世代（小中学生・保育園児）に知ってもらえるよう、植え付けから収穫までの作業を現地圃場で体験してもらっています。

参加者には山野地区の生徒も多くみられますが、まだ農業には



里芋以外の活動では、「山野保育園児体験農場」で、5月に「イチゴ狩り」と「さつまいも植え付け」、10月に「さつまいも収穫作業」を行っています。